

2009年2月26日

報道各位

石油連盟

国産バイオエタノール購入に係る基本合意について

石油連盟元売9社の共同出資で事業を推進しているバイオマス燃料供給有限責任事業組合（以下「JBSL」と言う）は、北海道内でバイオエタノールの生産事業に取り組んでいる北海道バイオエタノール(株)ほかとの間で、2009年度から本格生産が開始されるバイオエタノールの購入に関する基本合意に達しましたので、お知らせいたします。今後、JBSLでは、本契約締結に向けて、規格や価格など細部の条件交渉を進めてまいります。

石油業界は、2007年度から政府の支援を受けバイオETBEをガソリンに配合したバイオガソリンの試験販売を開始するなど2010年度の本格導入に向けた準備を着実に進めております。バイオエタノール生産事業者から購入する国産バイオエタノールは、バイオETBEの原料として利用してまいります。

石油業界は、これまでバイオ燃料の利用にあたっては地球温暖化対策のみならずエネルギー自給率向上に資するよう「国産国消」を目指すべきと主張してきたところであり、今回の基本合意はこの実現に先鞭をつけるものです。

<バイオマス燃料供給有限責任事業組合(JBSL)の概要>

2007年1月、石連加盟の元売9社が共同出資して設立。①バイオマス燃料の輸入および国内調達、②組合員(元売9社)に対するバイオマス燃料の販売および出荷を主たる業務としている。

以上

【本件お問い合わせ先】

石油連盟（広報グループ、TEL03-3279-3816）

バイオマス燃料供給有限責任事業組合（渡辺、TEL 03-5511-1667）